

# きじょう

木城町広報誌



木城町

Kijo city Publicity papers

平成27年5月号 No.355

5月  
2015年

【特集】

『平成27年度施政方針・当初予算の状況』 P2.3

『総合防災訓練』 災害に備えて～自主防災組織の重要性～ P4.5

■ 退任のごあいさつ P6

■ 人間萬歳／『石河内テニスコート』オープン！ P10

■ 木城町役場機構・職員配置図 P7

■ いぶき No.103 P11

■ まちの話題

■ 木城えほんの郷だより／町の人口（裏表紙）

木城町消防団幹部・部長名簿／役場のニューフェイス P8  
戦没者慰霊歌「三百三十八柱」木城中学校生徒合唱／行政相談委員のご紹介 P9



スポーツ振興くじ助成金の助成を受けて  
整備された石河内テニスコート



きっくん



クーちゃん

No.355

情報提供・お問い合わせ先

[Eメール] [soumu@town.kijo.jp](mailto:soumu@town.kijo.jp)

ホームページアドレス

[URL] <http://www.kijo.jp/>



# 平成27年度施政方針

平成27年第2回木城町議会定例会が開会され、平成27年度木城町一般会計予算などを36件の議案及び1件の諮問が上程され可決されました。田口晃史町長が示した、平成27年度の町政運営に関する基本方針について紹介します。

世界情勢はイスラム国と称するテロ集団によるテロ行為をはじめ、ウクライナ、シリアなどの内戦により不安定な状況にあります。こうした中、我が国の外交は領土問題等で日中、日韓関係は大変厳しい環境にあります。

内政においてはアベノミクスの政策による景気刺激策もあって、円安等により景気は回復傾向にあり、失業率も改善に向いつつあります。しかし、深刻な財政状況は依然として厳しく、加えて少子高齢化、生産年齢人口の減少は進み、将来への不安感が高まっています。

平成27年度の地方財政は企業収益の回復等によ

り、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が増加する一方、社会保障関係費の増加や公債費が高い水準で推移しており、依然として大幅な財源不足が生じています。

本町においては、小丸川発電所の完成に伴い平成20年度から固定資産税増収により、収入超過団体となり、町税の大幅な増となったところですが、26年度から税収減により、少額ですが交付税が交付されるようになりました。今後一層歳入の確保や歳出全般にわたって徹底した見直しを行い、諸産業の振興と町民本位の福祉の向上、併せて地域の発展に努めなければなりません。ご承知

のように、本年4月は統一地方選挙となっておりますので、経常経費を中心に骨格予算で編成をしたところでございます。

本町は、これまでも財政の健全化や、町民の福利向上を目指して行財政改革に取り組んでまいりましたが、引き続き事務事業の改善や、行政経費の削減等に積極的に取り組んでいく必要があります。

これからも引き続き、強力行財政改革を進めていくには、町民の皆様ご理解と協力が不可欠と考えております。行政主導型ではなく町民の皆様も積極的に参加していただき、安全で安心な生活が実感できる「小さくて

も誇れる、キラリと輝くまちづくり」のために町政に対する提言等を行っていただきたいと思います。



# 平成27年度 施政方針

## 平成27年度 木城町予算の状況

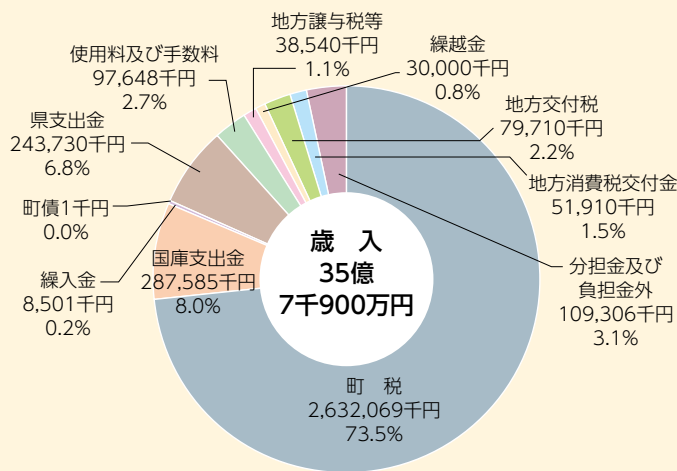
平成27年度  
木城町当初予算の状況

平成27年度の当初予算は、地方統一選挙の関係で政策的な事業を除いた骨格予算のため、一般会計35億7千900万円、特別会計18億2千450万円に決まりました。小丸川発電所の固定資産税（大規模償却資産税）の減少により、町税はやや減少しましたが、自主財源の比率は依然高い水準を維持しております。社会保障関係費等の扶助費の増など財政を圧迫する要因もあることから、より一層の歳入歳出の見直しを行い町民の福祉向上と減災対策、地域振興のため財源配分を行いました。対前年度比は9・8%の減となっております。

## 目で見る一般会計予算

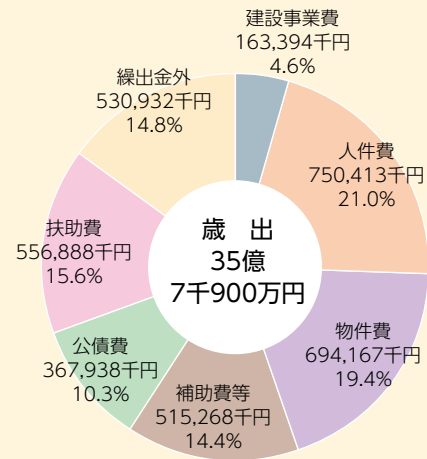
### 第1図 歳入の構成

歳入を性質別に見ますと、町税、使用料及び手数料等の自主財源が80.2%、国・県支出金、地方譲与税等の依存財源が19.8%となっています。



### 第2図 歳出の構成

歳出を性質別に見ますと人件費、扶助費、公債費の義務的経費が46.9%、建設事業費等の投資的経費が5.0%、物件費等の一般行政経費が48.1%となっています。



### 第3図 町税の内訳

(単位：千円)

税種	金額 (千円)	課税対象	金額 (千円)	割合 (%)
町民税	131,115	個人	114,517	4.4%
		法人	16,598	0.6%
固定資産税	2,460,091	土地	53,780	2.0%
		建物	164,105	6.2%
		償却資産	2,209,777	84.0%
		交納付金	32,429	1.2%
		町たばこ税	23,448	0.9%
軽自動車税	17,415	0.7%		
計			2,632,069	100.0%



# 特集

# 木城町総合防災訓練

本町は、南海トラフ地震クラス(震度7)の震災が発生した直後の行動を確認し、現状の課題を検証するため、総合防災訓練を実施しました。

2月22日(日)役場会議室・小丸川河川敷



高鍋警察署及び東児湯消防組合による被災車両からの救出搬送訓練

当日は、午前9時に無線告知放送による緊急地震速報を放送。震度7の地震が発生したことを想定して、役場会議室に町長を本部長とする災害対策本部を設置。被災状況に基づき、自衛隊、高鍋警察署、宮崎県、東児湯消防組合等の関係機関と協議しながら本部運営訓練を実施しました。

小丸川河川敷では、倒壊家屋からの救出訓練、被災車両からの救出搬送訓練、炊き出し訓練、消火訓練等の実働訓練を実施しました。

訓練終了後、田口晃史本部長(町長)は、全体閉会式において、「大変有意義な訓練となりました。本日の内容を精査して、今後の防災に役立て

ていきたいと思えます。これからも人命救助優先の防災に努めていきますので、今後ともご指導をお願いいたします。」とあいさつをされました。



役場会議室での本部運営訓練



自衛隊による倒壊家屋からの救出訓練



自衛隊及び木城町赤十字奉仕団による炊き出し訓練



## 災害に備えて～自主防災組織の重要性～

災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。  
災害が発生した場合、その災害の規模が大きい  
ほど、公的支援の機能は減退します。

災害被害を軽減するには、



1

**自助**

自分の命は  
自分で守る

2

**共助**

地域や近隣の  
人々同士が助け合う

3

**公助**

自衛隊、消防、  
警察など公的機関に  
よる救助活動

この3つの組み合わせで実現されます。

### 自主防災組織とは・・・

地域住民による任意の防災組織であり、町内会・自治会が母体となって地域住民が自主的に連携して防災活動を行う任意団体をいいます。

現在、町内には川原地区の住民で構成された「川原ごんげん自主防災会」が活動を行っています。

本町では、自主防災組織の活動に必要な補助金を交付し、支援を行っています。

#### 交付の要件

木城町自主防災組織整備推進要綱により認定された組織で、現にその規約などに基づく活動・運営を行っている組織

#### 補助対象経費

- ① 防災資機材の購入費
- ② 自主防災組織の活動費
- ③ 防災士の資格取得にかかる経費

#### 補助額

20万円(上限)又は10万円と加入世帯数に2千円を乗じた額を合わせた額のいずれか低い額

これから梅雨時期を迎えます。また、台風シーズンになりますので、ご家庭で防災用品の準備をお願いします。懐中電灯、ろうそく、乾電池、ラジオ、救急箱、タオル等の準備、水や缶詰などの非常食は最低3日分の備えをしておきましょう。



【お問い合わせ 総務課 電話 0983-32-4725】

# 退任のごあいさつ

私は、平成 27 年 4 月 27 日をもって任期満了により町長を退任することになりました。平成 15 年 4 月、町長に初当選して以来、3 期 12 年にわたり、町民の皆様の温かいご支援ご協力をいただきながら、町長の重責をまっとうすることができました。深く感謝申し上げます。

町長に就任して以来、一貫して農林業の振興をはじめ、子育て支援、学校教育の充実、住環境の整備など定住促進に力を入れて取り組んでまいりました。その結果、本町の人口は、減少傾向が次第に緩やかになり、直近の二年間では増加に転じることができました。なお、任期中に九州電力の発電所が竣工したことは大きな喜びでありました。

一方、平成 17 年の台風 14 号による被害、平成 22 年に発生した口蹄疫では農商工全ての産業において大きな被害を受けましたが、今日では、関係機関をはじめ、生産者の皆様のご努力により着実に復興の道を歩んでおります。

平成 18 年には町体育館の建設、平成 22 年には総合交流センターリパリスが完成し、スポーツ、文化、芸術及び教育の拠点となる施設が整備されました。また、平成 25 年には町政施行 40 周年記念式典を挙行することができ、改めて木城町の発展と飛躍を誓う機会となりました。これも一重に町民の皆様をはじめ、町議会、関係機関、職員の積極的なご協力の賜であり、厚くお礼を申し上げます。

これからは、一町民として、木城町の発展のために応援してまいりたいと存じます。これまでにお寄せいただいた町民の皆様のご厚情に改めて心から感謝申し上げますとともに皆様のご多幸を祈念して、退任のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

木城町長 **田口 晃史**



# 木城町役場機構・職員配置図

平成 27 年 4 月 1 日現在

特別職 3名  
一般職 90名  
定数 98名

町長 田口晃史

副町長 横田学

課長職	課長補佐職	係長職	係員
総務課長 中村 宏規	補佐・兼 黒木 宏樹	総務係長（補佐兼） 危機管理係長 黒木 幸一 広報係長 松本 文勝	—主査 渡邊 千里 主事 黒木 正樹 —主任主事 泥谷 昌尚 (兼任) —(書記長 中村 宏規) (書記 黒木 正樹)
財政課長 石井 雄二	補佐・兼 西田 誠司	財政係長（補佐兼） 管財係長（補佐兼） 電算係長 江藤 輝幸	—主任主事 森 秀仁 —主事 河野 竜太
まちづくり推進課長 萩原 一也	補佐・兼 谷岡 潔	企画調整係長（補佐兼） 商工観光係長 平野 豊和	—主事 尾崎 仙秀
税務課長 津江 邦彦	補佐・兼 壺岐 和寿	賦課係長（補佐兼） 徴収係長 鍋倉 貴行	—主任主事 森 晃一 主事 松元 秀聡 —主任主事 佐々木 恒太 主事 日高 欣希
町民課長 吉岡 信明	補佐・兼 平野 大輔	戸籍住民係長（補佐兼） 保険係長 橋本 敏博 生活環境係長 橋口 直幸	—主事 長濱 優 主事 武吉 美紀 —主任主事 中村 伸悟
福祉保健課長 小野 浩司	補佐・兼 藤井 学	福祉・子育て係長（補佐兼） 介護保険係長 廣瀬 豊 衛生係長 濱砂 光章	—主査 眞崎 哲子 主任主事 黒木 陽 主事 幸津 昭秀 —主幹 中井 裕子 主査 橋本 正枝 —主幹 洲上 洋子 主査 橋本 早苗 技師 猪野 美帆
兼地域包括支援センター所長 (小野 浩司)			—主任技師 原 陽子
めばえ保育園長 江口 将生		主任精士(主幹) 稗嶋 京子 主任精士(主幹) 岩村みち代	—主幹 内田 瞳 主事 菅 研一郎 —主事 佐野 愛 主事 清 有希
環境整備課長 河野 浩俊	補佐・兼 税田 宏司	管理係長（補佐兼） 工務係長 長友 涉 建築係長(主幹) 立山 英二 上下水道係長(主幹) 高橋 茂義	—主事 堀口 太暉 —主任技師 川野 教光 —主査 稲田 崇 主事 金丸 尚裕
産業振興課長 押川 道彦	補佐・兼 森 繁美	農政係長 桑原 幸一 農林係長（補佐兼） 耕地係長 吉野 茂	—主任主事 徳丸 孝枝 主事 日高 真衣 —主査 内野宮 克俊 主任主事 巽 雄司 主事 徳井 一聖 —主査 水口 信之
農委 併任事務局長 押川 道彦	専門監・兼 三隅 秀俊	農業委員会係長（専門監兼務）	—主事 小野 大希
会計管理者兼会計課長 伊藤 章		会計係長 森 水琴	—主任主事 黒木 和美
教育長 教育委員会 中井 諒二	補佐・兼 白岩 修	学校教育係長 長友 三保 社会教育係長（補佐兼） 総合センター係長 渡邊 雅洋	—主事 市原 麻美 —主任主事 河野 哲史 主事 三浦 明浩 —主任主事 黒木 祐一 主事 高野 成仁
議会 事務局長 洲上 達也		議事調査係長 廣瀬 孝一	—書記(主任主事) 稲田 宏美
監査 併任事務局長 洲上 達也			—書記(主任主事) 稲田 宏美

選挙管理委員会

【総務課付】  
(環境整備公社)係長 鈴木 貴弘  
(岩手県大槌町)係長 小嶋 一洋  
主任主事 山田 暁子  
主任主事 文田 恵子

※平成 27 年度から「企画課」は「まちづくり推進課」になりました。



# 平成27年度 木城町消防団幹部・部長名簿

平成27年度木城町消防団辞令交付式が4月1日、役場3階会議室で行われました。部長を代表して、黒木陽本部部長は、「日々訓練に精進し、町民の生命と財産を守るため、職務に専念します。」と決意を述べました。消防団幹部、部長及び各部の管轄地区は次のとおりです。一年間、よろしくお願いいたします。

## 【 幹 部 】

階 級	氏 名	管轄地区
団 長	矢野 哲也	
副団長	吉良 清志	
副団長	清 哲郎	
第1分団長	上野 満広	第1部～第6部
第2分団長	重永 建二	本部、 第7部～第11部



## 【 部 長 】

階 級	氏 名	管轄地区
本部部長	黒木 陽	町内全域
1部部長	白岩 修	田畑、一向瀬、重木
2部部長	白坂 和也	四日市、出店、池田、中川原
3部部長	稲口 智哉	中椎木
4部部長	樋口 秀馬	岩淵上・下
5部部長	栗田 拓馬	比木
6部部長	安田 剛	陣之内、牧之内、中原、 溜水、百合野
7部部長	竹折 直哉	大字高城（中川原、 田神、岩戸を除く）
8部部長	上田 隆	田神、岩戸、新岩戸
9部部長	長友 寿紀	大字川原全域
10部部長	黒木 隆志	大字石河内全域
11部部長	中嶽 和弘	大字中之又全域
ラッパ隊長	原 栄志	兼務

# 役場のニューフェイス



いちはら あさみ  
**市原 麻美**  
(教育課)

4月から教育課で勤務することになりました。出身が西都市なので、もっと木城町のことを知り、また皆さんに自分を知っていただくところからはじめていけたらなと思います。慣れないことや分からないことばかりなのですが、早く仕事に慣れ、少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



とくい いっせい  
**徳井 一聖**  
(産業振興課)

4月から産業振興課で勤務することになりました。小学生の時、2年間木城に住んでおり恩返しをしたい一心で木城町役場に応募しました。町民の皆様がとても優しく、とても住みやすいです。より良い木城町にできますよう一生懸命働きますので、至らない点も多いかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。



たけよし みき  
**武吉 美紀**  
(町民課)

今年度より町民課の窓口で勤務させていただきます。長年住み慣れた故郷である木城町で働くことができ、とても嬉しく思っています。まだ、わからないことが多く、不安もありますが、一日も早く一職員として自立し、木城町に貢献できるよう精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 戦没者慰霊歌「三百三十八柱」木城中学校生徒合唱



木城町戦没者慰霊祭（町社会福祉協議会主催）が4月5日（日）、城山公園忠魂碑前で行われました。式典の後、木城中学校生徒による慰霊歌「三百三十八柱」が披露されました。慰霊歌「三百三十八柱」は、西南戦争や太平洋戦争で亡くなられた338人の霊を慰める歌で、戦争の記憶を風化させてはならないとの思いから戦後70年を機に歌をとおして戦争の記憶を後世に継承しようと田口晃史町長が町職員の中村宏規さんに制作を提案。中村さんが作詞作曲を手掛け、木城中学校に協力を依頼して合唱が実現しました。木城中学校では、2月下旬から毎日練習してきました。参列した町遺族会も戦没者のひ孫世代が戦争を後世に伝えようと歌ってくれたことがうれしいと喜ばれていました。

## 行政相談委員のご紹介



ひろ せ かずひろ

**廣瀬一弘** 委員（岩戸地区）

昨年度までに引き続き、本町の行政相談委員に廣瀬一弘さんが委嘱されました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された住民と行政のパイプ役です。無報酬で行政に対する苦情や相談を受け付け、関係機関に対する助言や通知を行っています。また、廣瀬さんは、子どもたちに活動内容を理解してもらおうと、総務省宮崎行政評価事務所の協力を受け、木城小学校及び木城中学校で「行政相談出前教室」を実施しています。出前教室では、同事務所職員が行政相談委員の仕事について解説した後、廣瀬さんが改善につながった事例を紹介されました。毎月第2水曜日に福祉センターで行政相談を開設しています。相談は無料で、秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】 宮崎行政評価事務所 電話 0985-24-3370  
木城町役場 総務課 電話 0983-32-4725

# 人間 ばんざい 萬歳 にんげん

NINGEN BANZAI



いな くち とも や  
**稲口 智哉** さん (30歳)  
 中椎木  
 ●お仕事 / 鍍金塗装  
 ●趣味 / 石鯛釣り  
 ●家族構成 / 父・母・叔母の4人家族

このコーナーは、毎回町内在住・勤務されているいろいろな方々に登場していただきます。さて、今回登場するのは、この人！

## ● 自己紹介

今、熱中していることは、自動車の鍍金です。車の事故車などを元の形に鍍金して直していくのが楽しいです。今までの最高の修理代は170万円でした。事故車を見たときは本当に直るのが不安でした。でも、ばっちり直ったので良かったです。(さすがっ！車の持ち主も愛車が元どおりのきれいな姿に戻って、本当にうれしかったと思います。)

## ● 最近の出来事やニュースなどで気になること！

税金たけ～(TT)。  
 (みなさんから納めていただいた大切な税金です。「みんなで創る 明日に向けて翔くまち 木城」実現のため、知恵を出し合い、工夫を重ねて頑張ります。)

## ● その他・・・コメント

今年度は第一分団第3部の部長になりました。頑張りますので、よろしく願います。  
 (わたしも消防団員です。“とも”に頑張らしましょう。今回の写真は消防団辞令交付式の時の写真です。)

## 木城町Information

### 『石河内テニスコート』オープン！



平成24年3月に閉校となった石河内小学校のグラウンドにテニスコートが完成しました。テニスコートは、人工芝に砂をまいた4面のコートがあり、広さは約2,800㎡。石河内テニスコートは、地域の方々が運営する「いしかわうち」が指定管理者となって運営しています。「いしかわうち」代表の西和浩さんは、「自然環境に恵まれた石河内で伸び伸びとプレーしてほしい。近くにはラグビーやサッカーができる中八重緑地公園も整備されているので、スポーツ合宿等により利用促進を図っていきたい。」と抱負を述べられました。

【お問い合わせ「いしかわうち」電話 0983-39-1021】

## 活力と潤いに満ちた生きがいと魅力ある町づくり

3月14日城山公園ほかで行われました。今回は12名（町内8名、町外4名）参加があり、内容は城山公園での城の地形の説明、北郷蔵人供養墓（下鶴地区）、宗麟原供養塔（川南町）の現地説明等を行いました。地元の歴史を現地で知ることによって参加者の皆さんは一段と興味を深めたようでありました。今後、更なる研鑽を積み、町内から一人でも多くのボランティアガイドが誕生することを切に願います。



北郷蔵人供養墓（下鶴地区）での見学



天正6年（1578年）の合戦場での見学

3月19日保健センター調理室で行われました。

講師は福祉保健課 橋本早苗主査と食生活改善推進委員 金子令子さん（岩戸地区）で、「簡単なヘルシー春の料理」という内容でありました。講師の指導のもと、学級生の皆さんは楽しく料理を作り、有意義な時間を過ごすことが出来ました。



学級生による楽しい料理作り



出来上がり後は皆で楽しく食事

※中央婦人学級では今年度も様々な内容で月1回楽しく学べる講座を開催いたします。  
現在、新しい学級生を募集しており、興味のある方は、教育課（電話32-2369）までお問い合わせください。

# わたしのワンピース

## にしきまきかやこ絵本原画展

2015年 4月18日(土)~5月17日(日)

西巻茅子さんの、のびやかな線と明るい色調のリトグラフで描かれた『わたしのワンピース』は、45年もの間子どもたちに支持され、三世代に渡って読み継がれているロングセラーの絵本です。日本の絵本界の創世ともいわれる時期から、長い間、変わることなく子どもたちの心をとらえ、創作されつづけている西巻さんの絵本への思いや、今の時代にあってこそ子どもたちに伝えていきたいことなど、ご自分のことも含めてお話していただきます。

### にしきまきかやこ講演会

「わたし・絵本・子ども」

4月26日(日) 13:30~15:00



のんびり ゆっくり  
ひとかたまりの時間の中で

木城えほんの郷 2015



4月29日 5月3~6日

みどりの森のおはなし会

10:00~17:00

大人も子供も一緒に  
絵本やおはなしの世界を  
お楽しみください。

4月29日

オープニングセレモニー  
11:00~ 場所 森の芝居小屋

4月29日 5月2~5日

絵本トーク

11:00~ 14:00~

日替わりのテーマで  
絵本を楽しもう!

5月3~4日  
野郎

4月18日~5月17日  
絵本フェア

	5/3	5/4	5/5	5/6
手作りあそび 竹細工づくり	●	●	●	●
万草鏡づくり	●			
絵本のカバーで ペーパーバックづくり		●	●	
釣り竿作って 魚釣りをしよう!	●	●	●	●
えほんの郷で たんけんすごろく	●	●	●	●

お問合せ 木城えほんの郷

●tel 0983-39-1141 ●fax 0983-39-1180

●e-mail: ehon@kijo.jp

### 木城町の人口

(平成27年4月1日現在)

■人口: 5,183人 (先月比-5人) 男: 2,441人 (-3人) 女: 2,742人 (-2人)

■世帯数: 1,985世帯 (先月比-7世帯) ■町面積: 145.96 km<sup>2</sup>